

# 山形市中心市街地まちづくり 計画情報共有ワークショップ3回目

3rd

どんなプログラムがあるか どんな街がいいか？

1月14日(水) 18:00～20:00  
山形市中央公民館 4階 大会議室

参加希望者は前日までに氏名・所属・「参加希望」と書き下記連絡先にメールしてください

## 話題提供

鏡 昌博(株式会社ランドバンク山形代表)

加藤 優一(東北芸術工科大学専任講師)

相羽 康郎(NPO 法人まちづくり山形代表)

## ワークショップ

話題提供を受けてグループに分かれて話し合い

## 第3回目ワークショップの進めかた(中央公民館4階)

●話題提供者から山形市と上山市の空き家に関する活動事例を報告いただき、中心市街地の空き家、空き店舗、空き地(駐車場)の行方を踏まえて、整備方向を話し合います。その後第1, 2回目のワークショップの論点を整理したメモをもとに、大まかにまとめの方向性について話し合います

●第1, 2回目のワークショップの論点メモ

(1)霞城公園エリア

- ①公園内に復元史跡建築と武道体験、雪体験の広場、飲食の場所は重要で公園南ないし御殿堰沿い
- ②大手門ふれあい広場は博物館専用か武道館やスポーツ施設と複合化し豊烈神社とつなげる
- ③堀の周囲を回る石垣眺めて楽しく歩ける道の整備

(2)七日町エリアと西

- ①暮らし機能(子どもが遊びお年寄りがくつろげる場所、冬季の交通拠点や自転車道の整備など):デパ地下空間を出店誘導:食べ歩きを楽しめるエリア整備(旅籠町、南十日町)
- ②七日町通りを歩行者専用化:買い物客の駐車料無料:親水空間を活性化:ものづくりの見える化
- ③市民会館跡地・県保健センターは複合施設(公園、大学サテライトキャンパス、駐車、飲食店舗、サービス、歴史文化拠点、高齢者等福祉など)

(3)七日町エリアと東

- ①本物を現地保全し周辺・沿道を、歴史文化の重層的文脈で位置づける(リノベ、博物館、VR、展示物など)
- ②歴史保全ゾーンを指定し、広場、街並み整備:済生館病院の当初あった場所に郷土館の模型、VR
- ③三島通りから料亭街までに資料館設置:料亭文化のお座敷遊び教室、ドリンクテーリングなどの開催

主催: 特定非営利活動法人まちづくり山形

後援: 日本建築学会東北支部山形支所、日本建築家協会東北支部山形地域会、山形県建築士会山形支部、  
山形県建築士事務所協会

連絡先: 特定非営利活動法人まちづくり山形 ☎080-3325-2150 ☐yaiba.yasuo@gmail.com

この事業は山形県社会貢献基金の助成を受けています

